

ワンデーレスポンスの手引き (監督員用)

平成24年11月

■ワンデーレスポンスとは

ワンデーレスポンスとは、監督員が個々において実施していた「現場を待たせない」「速やかに回答する」という対応をより組織的、システマ的なものとし、工事現場において発生する諸問題に対し迅速な対応を実現する取り組みである。

1. 目的

(1) 品質確保への取組強化

工事現場において、発注段階では予見不可能であった諸問題が発生した場合、対処に必要な発注者の意思決定に時間を費やす場合があるため、実働工期が短くなり工事等の品質が確保されないケースが発生しているとの指摘がある。そのため、発注者は「速やかな回答」の実施により問題解決のための行動の迅速化を図る必要がある。

(2) 工事の効率化

公共事業の受注者、発注者に課せられた使命は「良いものを、早く、安全に、適正な価格で国民に提供すること」といえる。個々の公共工事現場において、受注者、発注者それぞれにメリットがあり、かつ誰でも取り組むことができる共通目標のひとつに、「所定の工期内で工事を完成させる」ことがあげられる。安全と品質を確保したうえで、発注者と受注者間が意思疎通を図り適切な工程管理を行うことにより、工期内に工事を完成させ、早期に供用開始を行うことでメリットが発生する。

2. 期待される効果

(1) 現場での手待ち期間の減少

現場施工の中で発生する受注者からの質問や協議等に対し、速やかに回答することにより現場での手待ちが減少し、効率的な現場施工が可能となる。また、即日回答が困難な案件についても、いつまでに回答が必要なのかを受注者に確認し、回答日を予告することにより、現場では次の段取りが可能となる。

(2) コミュニケーションの向上による経験・技術力・判断力などの伝承

受注者からの質問や協議に対し、判断材料が揃っていれば現場の担当者はずぐに上司に相談できるため、発注者内部での意思決定も速やかに行われる。また、発注者側の意思決定を効率的に行うことは、それに要するマンパワーが少なく済むほか、内部のコミュニケーションが活性化することになる。基本は、すばやい「報告・連絡・相談」であるため、相談された上司も素早いレスポンスが要求される。部下はその様を目の当たりにすることにより自発的なOJT（職場研修）が実施され、コミュニケーションの向上や技術の伝承につながる。

(3) 報告・連絡・相談による情報共有の実現

受注者と発注者、あるいは監督員間で頻繁に報告・連絡・相談等が行われることから、現場での問題点や進捗状況等の情報が共有され、様々な視点からの把握が可能となる。また、工事の進捗管理と発注者の役割分担（いつ、何をしなければならないか）を具体的に把握することができる。

(4) スピード感を要求されることによる緊張感や意識改革

効率的な現場施工により各作業の工期がタイトになれば、下請負者を含む関係者は一日一日の仕事に対し、緊張感を持って段取りよくコミュニケーションを図りながら行う必要があるため、効率的な作業が期待できる。また、発注者の「技術力」も必要となるため、学習や知識の蓄積が不可欠となり、すばやい対応を要求されることから緊張感が生じ、業務に対する意識の改革につながる。

(5) 現場トラブル拡大の防止

受注者が綿密な施工計画に基づいて工程管理を行うことは、工事の先々を予測し見通しながら先手の対応を可能とし、不測の事態が発生した際の対応が適正に行われることが期待できる。また、受注者からの質問や指示依頼が速やかに、かつ適正に行われることにより回答を早く返すことができる。このことは、トラブル発生の際のレスポンスタイムを短縮するばかりでなく、トラブルの拡大を防ぐことにもつながる。

(6) 行政サービスの向上

工事目的物が早期に完成することは、その効果を早く市民に提供できると同時に、工事現場周辺の住民への影響を少なくできるため、行政サービスの向上という発注者責任を果たすことになる。

3. 実施方法

(1) 設計書作成時の確認

設計書作成時に支障物件の有無、用地買収の完了、関係機関協議の完了などの懸案事項、未処理案件について先に確認、処理を行い、できる限り工程上の支障案件を回避する。また、施工段階での設計見直し防止のため、現地踏査を行いコンサル業務成果の現地整合を確認し施工計画を考慮した熟度の高い設計を行う。

(2) 当初打合せ時の工程確認

当初打合せ時に工程上支障となる事項等について互いに確認する。

(3) 工事施工時のワンデーレスポンス

ア 受注者に対して回答希望日を確認する。

イ 受注者から受けた協議文章（工事打合せ簿）は、直ちにその内容

に応じてグループリーダー、参事及び課長に提出する。

ウ 受注者からの協議等について、課内で検討した上で、基本的にその日のうちに回答するなど、速やかな回答に努める。対外協議や検討など時間を要する場合は、回答予定日をその日のうちに回答する。

(4) 複数人による現場対応

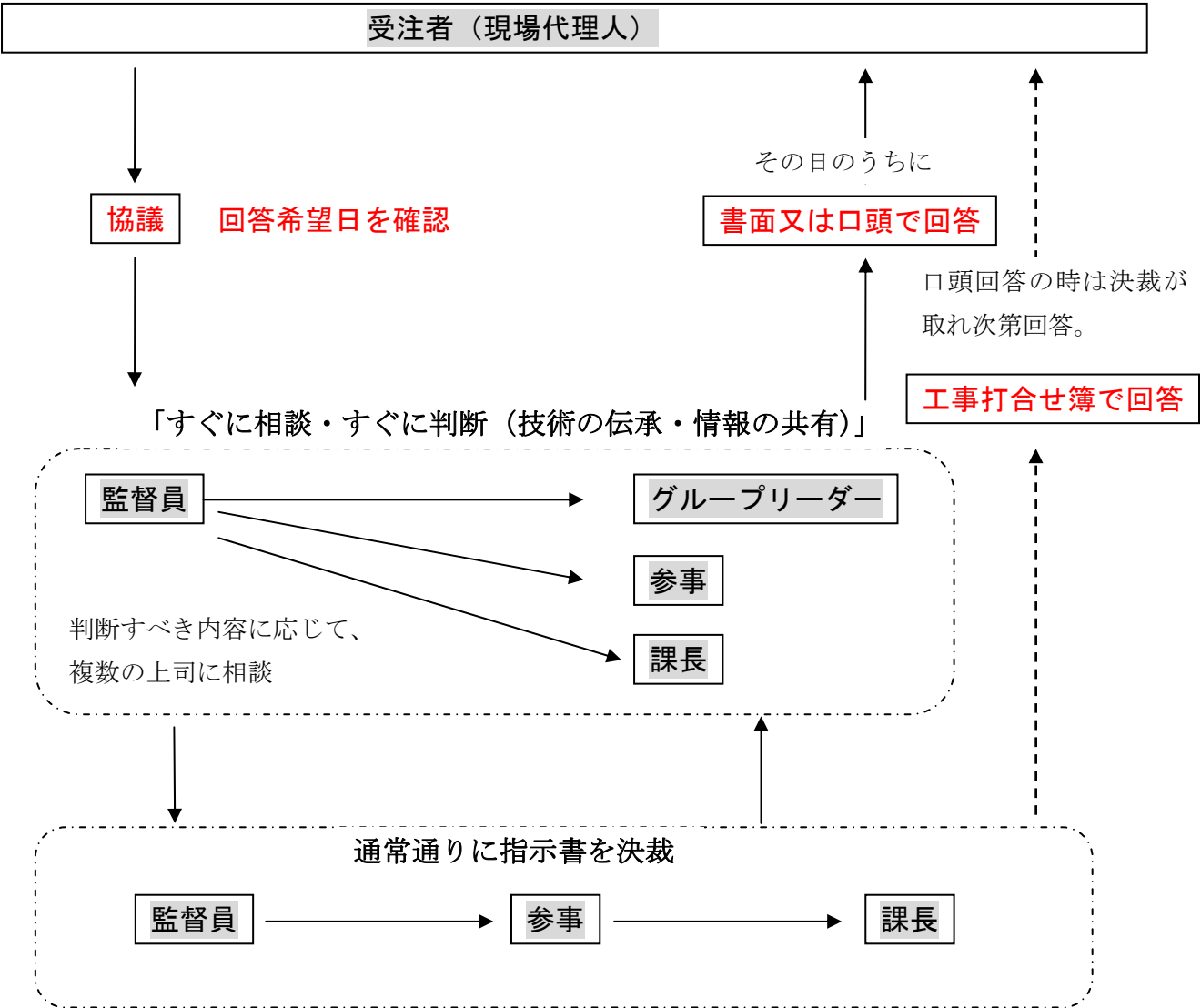
業務に支障のない範囲で、複数人（監督員、グループリーダーまたは、参事及び課長）で現場対応を行う。

(5) 特記仕様書への記載

特記仕様書に次の文を記載する。

- 1 この工事はワンデーレスポンス試行工事である。
「ワンデーレスポンス」とは、
 - ① 工事発注に先立ち、事前に想定される手待ちとなる要因を確認すること
 - ② 受注者との綿密な打合せと情報共有
 - ③ 受注者からの協議等に対してその日のうちに「速やかに」回答。対外協議、検討が必要な場合においても回答予定日をその日のうちに回答。以上により現場の手待ちを減少し効率的な現場施工を実施する取組である。
- 2 受注者は、計画工程表の提出にあたり、工程上支障となる事項等を監督員とともに確認するものとする。また、施工段階においては前もって問題点の抽出に努め、事前に計画を立て早めの協議を行うものとする。
- 3 受注者は、工事施工中に発生する様々な問題について、受注者の意見・資料を付して速やかに監督員へ報告するものとする。また、併せて回答希望日を報告するものとする。

①即日回答が可能な場合



(即日回答が可能な場合の記載例)

(様式 A-15)

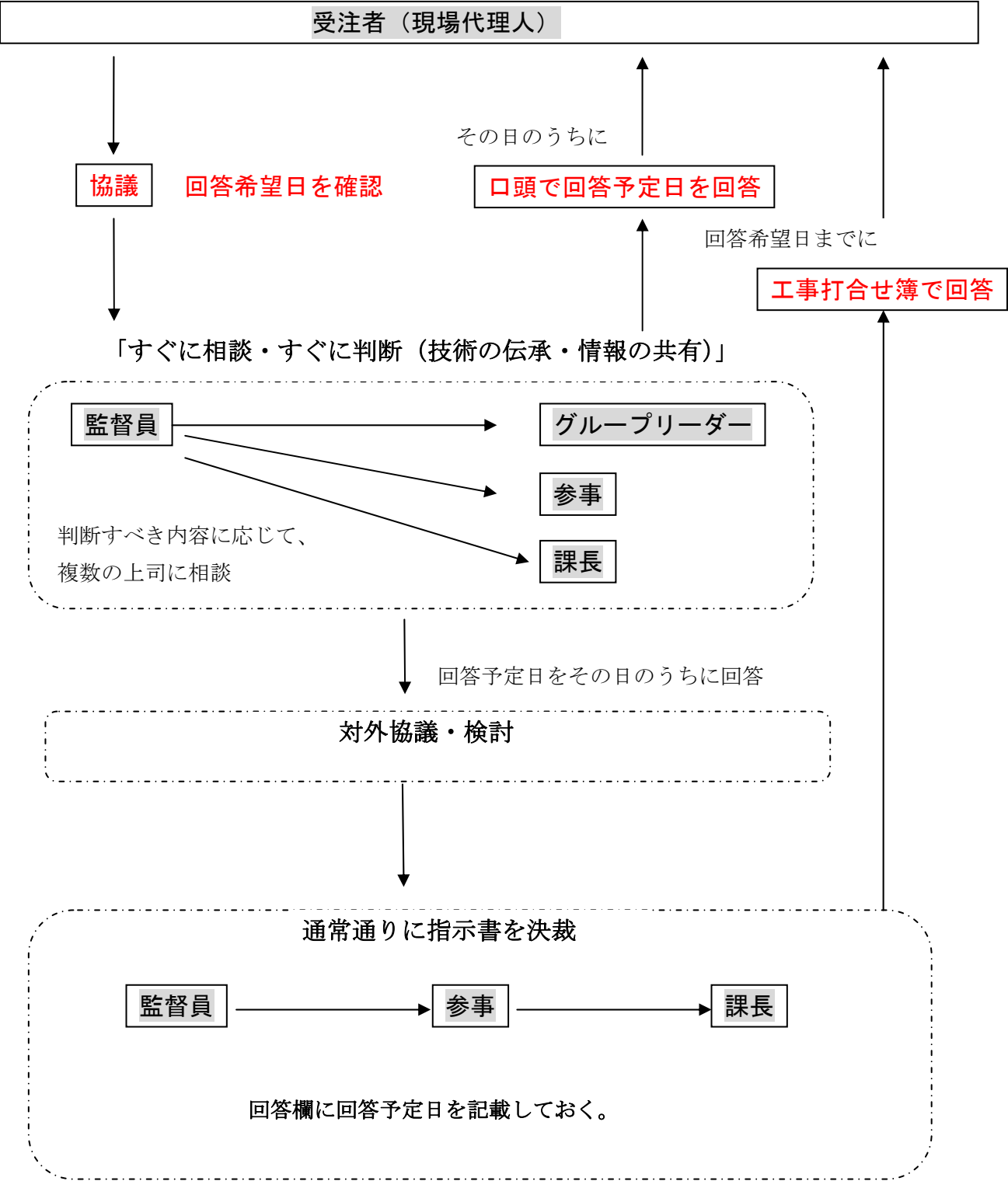
工 事 打 合 せ 簿

発 議 者	☐ 発注者 ☒ 受注者		発 議 年 月 日	平成 2 4 年 9 月 2 5 日
発 議 事 項	☐ 指示 ☒ 協議 ☐ 通知 ☐ 承諾 ☐ 提出 ☐ 届出 ☐ その他 ()			
工 事 名	道路改良工事			
(内容) 現地掘削したところ、基礎地盤の土質が設計図書と異なり軟弱な粘性土であることが確認されたため、別添図面のとおりに変更したいので協議します。 回答希望日 平成 2 4 年 9 月 2 5 日				
添付図 葉、その他添付図書				
処 理 ・ 回 答	発 注 者	上記について ☒ 指示 ・ ☐ 承諾 ・ ☐ 協議 ・ ☐ 通知 ・ ☐ 受理 します。 ☐その他 協議の通り施工されたい。なお、本協議内容は契約変更の対象とします。 平成 2 4 年 9 月 2 5 日		
	受 注 者	上記について ☐ 了解 ・ ☐ 協議 ・ ☐ 提出 ・ ☐ 報告 ・ ☐ 届出 します。 ☐その他 年 月 日		

課 長	参 事	監督員

現 場 代理人	主任 (監理) 技術者

② 検討に時間を要する場合



(検討に時間を要する場合の記載例)

様式 A-15)

工 事 打 合 せ 簿

発 議 者		☐ 発注者 ☒ 受注者	発 議 年 月 日	平成 2 4 年 9 月 2 5 日
発 議 事 項		☐ 指示 ☒ 協議 ☐ 通知 ☐ 承諾 ☐ 提出 ☐ 届出 ☐ その他 ()		
工 事 名		道路改良工事		
(内容) ・排水工の計画高さの変更について 現地掘削したところ、暗渠排水管が確認され当初計画高さで排水工の施工が困難となったので別添図面のとおりに変更したいので協議します。 回答希望日 平成 2 4 年 1 0 月 3 日				
添付図 葉、その他添付図書				
処 理 ・ 回 答	発 注 者	上記について ☒ 指示 ・ ☐ 承諾 ・ ☐ 協議 ・ ☐ 通知 ・ ☐ 受理 します。 ☐その他 回答予定日 平成 2 4 年 1 0 月 3 日 関係機関協議の結果、別添のとおりに、排水工の計画高さを 変更します。本指示は契約変更の対象とします。 平成 2 4 年 1 0 月 3 日		
	受 注 者	上記について ☐ 了解 ・ ☐ 協議 ・ ☐ 提出 ・ ☐ 報告 ・ ☐ 届出 します。 ☐その他 年 月 日		

課 長	参 事	監督員

現 場 代理人	主任 (監理) 技術者